

厚生労働科学研究費補助金（移植医療基盤整備研究事業）
分担研究報告書

臓器提供側医療者への啓発に関する研究

研究分担者 渥美 生弘 聖隷浜松病院・救命救急センター長

研究要旨：

令和3年度に行われた世論調査によると、脳死下または心停止後における臓器提供の意思に関しては、39.5%が提供したいと答えている。一方で、臓器提供が可能な脳死患者は、少なくとも年間2000例は発生していると推定されており、その約40%が臓器提供の意思があったとしたら約800例の臓器提供が見込まれる。しかし、実際には100例前後に留まっているのが現状であり、患者の意思が救急医療の現場で把握できていない可能性がある。

患者の意思を把握できていない原因は、提供病院における業務上の負担や、精神的な負担があげられ提供体制整備やマニュアル作成などの対策がすすめられてきた。近年は臓器提供を繰り返す施設が散見され、医療者が患者家族からの感謝や、チーム医療における達成感、満足感などから臓器提供を前向きに捉えている可能性がある。

本研究では複数の臓器提供を経験している施設の医療者を対象に、フォーカスグループインタビューを行う。臓器提供に関わった時の苦悩や葛藤、達成感、臓器提供を経験して認識がどのように変化したのかを調査し分析する。今年度は、研究計画書、インタビューガイドなどを作成、倫理委員会の承認を得て、調査の準備を整えた。来年度、実際に調査を行う予定である。

本邦で臓器提供を経験した医療者の満足感や達成感に関する報告は少ない。救急・集中治療を行う施設において臓器提供への関りを改善していくために、貴重な資料になると期待している。

A. 研究目的

令和3年度に行われた世論調査によると、脳死下または心停止後における臓器提供の意思に関しては、39.5%が提供したいと答えている。一方で、臓器提供が可能な脳死患者は、少なくとも年間2000例は発生していると推定されており、その約40%が臓器提供の意思があったとしたら約800例の臓器提供が見込まれる。しかし、実際には100例前後に留まっているのが現状であり、患者の意思が救急医療の現場で把握できていない可能性がある。

患者の意思を把握するためには様々な障壁がある。その障壁を乗り越えて複数の臓器提供を行っている医療者は、なぜそれが出来ているのか、どのようにその障壁を乗り越えることが出来たのか聞き取り調査を行うこととした。

B. 研究方法

複数例の臓器提供を行っている病院に勤務する医師、看護師にフォーカスグループインタビューを行う。

臓器提供に関わった時の苦悩や葛藤、臓器提供に関わった時の達成感、医療者自身の臓器提供への認識の変化についてインタビューする。

インタビューは録音した上で文字起こし、質的帰納的に分析する。

C. 研究結果

本研究の研究計画書（資料1）は山口大学

の倫理委員会で承認された。

依頼文（資料2）、研究概要書（資料3）、同意説明書（資料4）、同意書と撤回書（資料5）、インタビューガイド（資料6）、を作成した。

D. 考察

本邦は諸外国に比べ臓器提供数が極端に少なく、これまで臓器提供の増加に向け様々な取り組みがされてきた。その多くは、臓器提供における業務上や精神的な負担を軽減するため、提供体制整備、マニュアル作成の支援などであった。

一方で、近年は臓器提供を繰り返す施設が散見される。臓器提供に関わり、患者家族からの感謝、レシピエントに繋がったこと、チーム医療における達成感、などから前向きに捉えることが出来るようになってきている可能性がある。

しかし、本邦で臓器提供を経験した医療者の達成感や満足感に関する報告は少なく、大規模調査は皆無である。

本研究では、医療者が臓器提供に関して意欲を上げる点を調査するとともに、障壁をどのように乗り越えたかを明らかにしていく。救急・集中治療を行う施設において臓器提供への関りを改善していくために、貴重な資料になると期待している。

E. 結論

医療者の臓器提供への関りをよりよいもの

にしていけるよう、複数例の臓器提供を経験している医療者を対象としたインタビュー調査を計画した。

来年度、調査を実行、分析し結果を公表していく予定である。

F. 健康危険情報

G. 研究発表

1. 論文発表

- 渥美 生弘, 出口 美義, 中安 ひとみ
小児、教育、記録、宗教、法律に関する課題 日本集中治療医学会雑誌 2022;29(supplement 2): s41-49
- 有松 優行, 渥美 生弘, 諏訪 大八郎, 大熊 正剛, 土手 尚, 石田 惠章, 齋藤 隆介, 古内 加耶, 小林 駿介, 伊藤 静, 徳山 仁美, 中安 ひとみ, 出口 美義, 光定 健太, 角屋 悠貴, 武田 葉幸, 田中 茂 臓器提供の意思があつたが虐待の可能性が否定できず臓器提供に至らなかつた小児の1例 脳死・脳蘇生 2022;34(2): 91-94
- 小野 元, 安心院 康彦, 渥美 生弘, 稲田 眞治, 國島 広之, 嶋津 岳士, 横堀 将司, 吉川 美喜子, 横田 裕行, 江川 裕人, 水谷 敦史, 大宮 かおり, 小川 直子, 中村 晴美, 脳死・臓器組織移植に関する委員会 臓器提供経験施設への実態調査研究に基づく新たな体制構築に関する提言(Ver.1) 日本救急医学会雑誌 2022;33(8):436-463
- 横堀 将司, 横田 裕行, 渥美 生弘, 黒田 泰弘, 内藤 宏道, 西山 慶, 林 宗博, 平尾 朋仁, 本多 ゆみえ, 師岡 誉也, 吉川 美喜子, 稲田 眞治, 小野 元, 伊藤 友弥, 江川 裕子, 沢本 圭悟, 岩永 航, 一般社団法人日本救急医学会脳死・臓器組織移植に関する委員会 委員会報告 脳死下臓器提供におけるアンケート調査 脳死判定を目的とした転院搬送の考察をふまえて 日本救急医学会雑誌 2022;33(8):4

21-435

- 渥美 生弘 臓器提供・臓器移植の全体像 臓器提供に関する地域連携 救急医学 2021;45(10):1270-1275

2. 学会発表

- 渥美生弘、横田裕行：臓器提供ハンドブック 第34回日本脳死脳蘇生学会 (22/6/19 web)
- 渥美生弘：臓器移植における基礎知識と看護実践 日本看護協会 (22/6/22 web)
- 渥美生弘：患者の思いに応えるために 日本移植学会次世代リーダー養成講座 (22/7/23 web)
- 渥美生弘：救急・集中治療における臓器提供 第44回日本呼吸療法医学会学術集会 (22/8/7 横浜)
- 渥美生弘：患者の思いに応えるために 福井県臓器提供普及啓発協議会 (22/8/17 web)
- 渥美生弘：患者の思いに応えるために 臓器提供勉強会 富山県立中央病院 (22/10/28 富山)
- 渥美生弘：患者家族と協働する 山口大学臓器移植コーディネーター院内研修会 (23/3/8 山口)
- 渥美生弘：患者の思いに応えるために 令和4年度 第2回沖縄県移植情報担当者会議 (23/3/9 山口)

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし